

ビジネスモデリング手法を活用した 業務改革の進め方

研修の目的	<p>企業活動を活性化、効率化させるためには、経営目的（経営戦略の実現、経営目標の達成、経営課題の解決）を達成するための業務改革が不可欠です。業務改革を効果的に進めるためには、企業活動のあるべき姿をモデリングによって描き、そのあるべき姿を実現するための IT の活用を検討することが必須です。</p> <p>本研修では、業務改革の進め方について理解するとともに、業務改革の効果的手法としてのビジネスモデリング手法、システム化要件を明確化する方法を修得することを目的とします。</p>
研修の特徴	講義とグループ演習（ケーススタディ）を組み合わせた研修で、実践的知識を身につけていただきます。
研修の期間	標準コース 2日間12時間
研修カリキュラム	<ol style="list-style-type: none"> 1.業務改革とは <ol style="list-style-type: none"> (1)業務改革の目的と意義 (2)BPR の考え方 2.業務改革の進め方 <ol style="list-style-type: none"> (1)業務改革のプロセス (2)業務改革の手法 3.ケーススタディ 1:経営目的の理解と改革テーマの策定 4.DFD <ol style="list-style-type: none"> (1)業務改革で DFD を描くことの意義 (2)DFD の描き方 5.ケーススタディ 2:DFD による業務改革のあるべき姿の明確化 6.システム化要件定義 <ol style="list-style-type: none"> (1)システム化要件と業務改革要件 (2)要件定義のポイント 7.ケーススタディ 3:システム化要件定義とシステム化構想の策定 8.システム化計画から実行へ <ol style="list-style-type: none"> (1)システム化計画の作成 (2)システム開発管理計画の作成
研修の対象者	経営者、CIO、情報化部門の管理者・担当者、ユーザー部門の管理者・担当者、ITC を含めて業務改革に関心のある方
研修講師	<p>小野修一 IT マネジメント・サポート協同組合理事 (有)ビジネス情報コンサルティング 代表取締役</p> <p>大手 IT ベンダー出身、専門は業務改革・IT 戦略・IT 調達・IT 投資対効果評価・内部統制・情報リスクマネジメントなどのコンサルティング、およびシステム監査・情報セキュリティ監査など 中小企業診断士、公認システム監査人、IT コーディネータ</p>